

2012年(平成24年)9月13日(木)

毎 日 新 聞

全盲の男性(左)に点字付きカレンダーを渡す
中原会長



点字カレンダー寄贈

県印刷工業組合青年部

県内外協力 県盲人福祉協会に300部

県印刷工業組合青年部(中原夏樹会長)は11日、視覚障害者に役立ててもらおうと、点字付き卓上カレンダー

300部を県盲人福祉協会(舛尾政美理事長)に寄贈した。

カレンダーの寄贈は昨年に続き2回目。9月は、日本の活版印刷の始祖、本木昌造(1824〜75)をしのび「印刷月間」とされており、印刷業への理解を深めてもらおうと同青年部が企画。県内外の印刷会社など29社の協力で製作した。

この日、青年部のメンバーが関西町の県盲人福祉協会を訪れ、中原会長が「皆さんのお手元に置いていただければ」と舛尾理事長に

手渡した。カレンダーは月めくり式で、日付や曜日、祝日が点字で分かるよう工夫されている。色覚障害者にも分かるように日祝日は黒色だけで表した。

二十数年前から全盲の赤松邦彦さん(76)「貴船町」は、カレンダーを受け取ると、真先に自分の誕生日を確認。「普段の予定は読み上げ機能付きの携帯電話に入れています。が、カレンダーがあれば数カ月後の日祝日などもすぐに分かるので便利です」と喜んでいました。

【平川昌範】